

助成対象活動報告シート

団体名：名駅東花車・船入地区まちづくりの会

1 助成を受けて実施した活動

①勉強会開催 2022年9月3日(土) 14時～16時30分
地域アンケート調査結果を踏まえた「**まちづくり勉強会**」
明るい未来を構想する多様性と想像力を身につけよう
＜講師＞名古屋市地域まちづくりアドバイザー 藤森 幹人氏
＜内容＞現状の課題・地域の将来像・まちづくりの取組み手法などを学びました

②地域交流イベント開催 2022年10月10日(月・祝) 10時～15時
さあ、いこまい！ うみやあもん&ええもんみつけ「**花ぐるマルシェ**」
＜会場＞花車神明社および周辺
＜内容＞花とグルメとイイものを発見し、人々が楽しく交流できる自由参加のイベント



©安藤正基・一迅社 / 愛知県立田金高校

③勉強会開催 2022年11月11日(金) 17時30分～19時30分
まちの将来像を一緒に考える「**構想づくり勉強会**」
この地域の「共有価値」や「まち再生イメージ」について意見交換しよう
＜講師＞株式会社アール・アイ・エー 名古屋支社 計画部長 松井 宏充氏
＜内容＞構想づくりの事例やポイントなどを学び、まちの将来像を論議しました

④構想資料公表 2023年2月9日(木)
ビジョンシート「**はなぐるまちづくり構想**」
これまでの活動で導き出された構想の理念・方針などを“見える化”する資料です
＜公表方法＞地権者および地域内居住者等へ配布し、HPやTwitter等でも公表しました
＜構想の基本理念＞住んでよし、働いてよし、楽しんでよし、のまちづくり

※ この様式は公開されます。

2 活動の成果および目標達成度合い

- ①「まちづくり勉強会」では、前年度に実施した地域アンケート調査結果を掘り下げて確認したり、地域の成り立ちや現在の魅力などについて意見交換したりすることができ、相互理解が深まって、地域魅力を将来に受け継ぐ構想づくりの進展につながりました。
- ②「花ぐるマルシェ」では、小さなお子さんから年配者まで、ご家族で、地元の仲間、「お久しぶり！」や「はじめまして！」と、明るい談笑の輪がいくつもできていました。来場者アンケートは、会員でない方や県外の方にもご協力いただけ、まちづくりに関する期待の声や意見を集めることができました。
- ③「構想づくり勉強会」では、花車ビル3館のそれぞれの関係者や地域住民・活動エリア外の方々も参加いただき、課題認識の発表や率直な意見交換ができ、多様な主体の意見を一本化していく為の良いきっかけになりました。
- ④「はなぐるまちづくり構想」の制作は、住民・地権者・事業者・来訪者など様々な立場の方々の想いと将来像に求められる要素を盛り込んでいく取り組みとなりました。これを単に公表するだけでなく、私たちのまちづくり活動で目指していきたい夢やビジョンを広くお伝えし対話を重ねていく過程で、多くの方からのご意見や賛同を集め、関係者の合意形成を図っていきたいと考えています。

3 活動により見えた課題

- ◆花車ビル3館は、名古屋市において昭和に唯一実施された市街地改造事業（昭和39年に事業計画認可、小鳥町第1市街地改造事業）によって建築された複合用途ビルで、完成から50年以上経過しており、建物の維持管理や耐震性の問題など、多くの課題をかかえています。一方、花車ビル以外の東側地域には、企業のオフィスビル、小規模共同住宅、戸建て住宅などが混在し、江戸時代の幅の道路もあり、地震による道路閉塞など防災上の課題が解決できない状態にあります。
- ◆この地域の多様な立場の方々の想いも多様で、量産型のまちづくり活動や草の根運動だけでは進まない意見の合意形成や、活動費用の捻出などの課題もあります。

4 今後の活動等の展望

- ◆当会が目標とするまちの姿は、『誰をも受け入れる新しい時代の実りある街』です。活動地域の広さはバンテリンドームナゴヤの1.2倍にあたる約5.8ヘクタールあり、広範囲かつ多面的な「はなぐるまちづくり構想」には、「前例がない」や「不可能だ」との声も聴かれますが、「まちづくりで“できる”がね！」の気持ちで活動を続けていきます。
- ◆これまでに寄せられた「安心安全」への高い関心に応えるため、命を守る「防災」としての取り組みを強化し、『新しい時代の災害に強いまちづくり』を進めます。
- ◆多様な立場と多様な価値観が混在する中で、大きな声・小さな声の方のみならず、声なき声をお持ちの方にも配慮し、権利者・行政・コンサルタント等と連携しながら、種をまき花が咲いて地域魅力が向上するよう貢献して参ります。